

“とめよう！ 原発依存社会への暴走 大集会”に 参加しよう！ 6月9日(日)13時から うつぼ公園 → デモ行進

発生後13年たっても「非常事態」も解除出来ない福島原発事故、そして今回の能登半島大地震は、「地震は、いつ、どこで、どの規模で発生するか予知出来ないこと、原発は地震に弱く、一刻も早い原発全廃が必要だということを示している。福島原発事故の教訓を忘れ、そしていまなお事故処理も、被害者の救済も出来ていないのに、電力資本と原子カムラの指示の下で「原発依存社会」への暴走を続ける岸田政権に対して、反原発運動を拡大強化して、原発推進法を骨抜きにして実行不能に追い込もう。原発の全廃を求めて運動を拡大して行こう。



若狭の老朽原発は直ちに廃炉に！

能登半島大地震でも若狭地区は震度4の地震動を観測。ところが関電は老朽高浜1.2号の稼働を継続し、美浜3号の再稼働を行い、高浜1号では配管からの事故が発生したのに、事故処理もいじり加減に、規制委も黙認し稼働を続けている。

県外での中間貯蔵ができない関電は運転停止を

関電は、「使用済み核燃料の中間貯蔵地を2023年末までに福井県外で捜れなければ老朽原発は停止する」と約束していたのに、「ごく一部を仏国に試験送付」「上関で調査」というごまかしで約束を反故にした。この約束は老朽原発に付属の使用済み核燃料冷却装置があと数年で満杯となる対策であった。関電は約束を破って、その溢れる使用済み核燃料を原発敷地内で保管しようとしている。

原発の全廃を求めていこう

地震に脆弱で事故が起れば過酷事故、事故がなくても何万年も保管が必要な使用済み燃料の発生。もう原発は停止させ、全廃すべきだ。

5/18 イスraelはラファ攻撃をやめろ！ 米国は武器・弾薬を供給するな！

5月15日はアラビア語で大災厄を意味する『ナクバ』の日。ナクバによって失われた故郷の象徴である「パレスチナの鍵」を掲げて闘われる。その76年目、世界の人民がパレスチナの人々と連帯し、抗議のデモ行進が展開された。大阪では関西ガザ緊急アクションが主催して集会とデモが開かれた。集会には400人を超える市民が参加し、デモ行進を行った。

16日には東大駒場に首都圏の大学から学生が集まり、「日本の大学は沈黙するな」「Free Free Gaza」の声をあげた。青山学院大、東大、早稲田大、慶応義塾、明治大、一橋大、上智大、京都大などで闘いが進められている



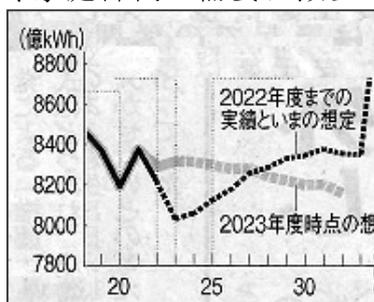
エネルギー基本計画の改訂にむけて

電力需要を一転して増加設定として、原発の拡大を狙う政府と業界

国のエネルギー政策の方向を示す「エネルギー基本計画」の改訂に向け経産省の有識者会議が始まった。前回の2021年の計画では、少子化や省エネで電力需要が減ると想定した。実際には想定以上に減少した。岸田政権の原発再拡大は全く不要であることが明らかになった。

DCや半導体を口実に電力需要の拡大予想

これに対して経産省は、家庭部門の需要は減少するが、電気を大量に使うデータセンターや半導体工場の増設が進み、産業部門の需要が大幅に増加するとする。経産省は全くの「仮想話」で原発拡大への道を進め



ようとしている。岸田首相が原発について「最大限活用する」と転換しており、原発の新設、リブレースにも踏み込んでいることに対応している。

有識者会議は、日本製鉄、旭化成、NTT、三菱総研、日本エネ研、三井住友銀行、東京海上、日本電鍛などの企業代表、東大や京大、早稲田、一橋などの学者に、消費者団体関係者が加わった構成で、ほぼ経産省の思惑通りに進む。

「原発依存低減」の転換を要求する電事連

大手電力会社の代表の電事連会長(林欣吾中部電社長)は、17日に国のエネルギー政策の基本である「原発依存を可能なかぎり低減する」方針を見直すことを要求した。そして、原発の新増設や建て替えの必要性の明記、原発建設への財政的な支援、事故が発生した時の電力会社の「無限責任」の見直しを要求した。

柏崎原発でまたまた安全対策違反(朝日 5/10)

柏崎・刈羽原発の重大事故対策施設の安全対策が不十分であることが判明した。20年に設置され、昨年も点検されたことになっているのに、電源用ケーブルが「火災防護区域」外に敷設されていた。また非常用電源関連の監視装置も動作できていなかった。

米国と台湾が海軍合同訓練を実施(朝日 5/15)

米通信社は、米国と台湾の海軍が4月に合同訓練を行っていたと報道した。訓練はフリゲート艦や補給艦が参加し、西太平洋で数日間実施された。詳細は未定であるが、報道を通じて公表することによって軍事的緊張を高める行為である。

福島での「汚染水漏れ」は違反作業(朝日 5/16)

今年2月に福島で起きた「建屋からの汚染水漏れ」について、規制委は「原子炉等規制法」に違反したと判断。東電のリスク管理の甘さが浮き彫りとなった。

規制委は昨年10月の事故でもリスク抽出の甘さを指摘しており、その後も同様のトラブルが発生することに対し、規制委員からも厳しい声が出ている。

米国が未臨界核実験を再び実施(朝日 5/16)

米国の国家核安全保障局はネバダ州の核実験場で核爆発を伴わない未臨界核実験に成功と発表。バイデン政権下では3回目である。1992年の核実験の全面停止条約以降、通算34回目である。

ニューカレドニアで「暴動」が発生(朝日 5/15・17)

「天国に一番近い島」といわれた南太平洋の仏領ニューカレドニアで、仏政府が地方選挙で仏系住民に投票権を付与し、独立を阻止する動きに対する独立派の抗議行動をきっかけに「暴動」が発生した。仏政府は島に非常事態を発令し抑圧を強化している。



米大使が与那国島を訪問し視察(朝日 5/18)

エマニュエル駐日米大使は17日、沖縄・与那国島を米軍機で訪問した。民間の与那国空港を米軍機が使用するのも、与那国島への公式訪問も初めてである。「台湾有事」を念頭に、自衛隊の最前線基地に「米軍の足場を確保する」ための布石である。

案内 5/31 原発いらナイト in 宝塚

恒例の「原発いらナイト in 宝塚」の134回目が5月31日に5時から宝塚駅の JR 連絡橋で開かれます。サキソフーンの演奏のもとで、10人くらいで軽やかにチラシを配布します。飛び込み参加大歓迎です！

案内 5/25 大阪弁護士会「憲法市民講座」



5月25日に大阪弁護士会主催で「憲法に自衛隊明記 変わるの？ 変わらないの？」講演会があります。

日時: 5月25日 13:00~16:00

講師: 半田滋さん・清水雅彦さん

場所: 大阪弁護士会館2階

申込: 06-6364-1681 (司法課)

ZOOM 参加も可能です

案内 5/30 「この歴史を後世に」フィールドワーク



丹波篠山にあった「鳥山鉱山」での落盤事故の朝鮮人犠牲者を弔うフィールドワークです。

日時: 5月30日 8:30~17:00 頃

集合: 阪急宝塚駅北側

講師: 松原 薫さん

申込: 0797-77-5101 (福井さん)

案内 6/13 「君が代」調教 や・め・て

声をあげる 子どもたち

「D-TaC 結成9周年集会」

「君が代」不起立処分取り消しは終結しても、闘いは子ども・保護者の新たな動きへとつながる。

松田幹夫さんに対する不当な処分取り消しはかないませんでした。最高裁に向けた署名は2387筆を提出。「子どもの権利条約違反」「国際人権自由規約違反」の訴えは大きく広がっています。

日時: 6月13日 19:00~

場所: エルおおさか 606号室

話し: キャロラインさんとアイリーンさん



6月1日には2つの講座が! どちらかに参加して、もう一方は「後日配信」に!

わたつみ会連続講座「東京空襲の諸問題」

日時: 2024年6月1日(土) 13:30~16:00

講師: 山辺 昌彦 さん(わたつみ会会員)

東京空襲の実相です。米軍記録により、爆撃の狙い、内容、規模を明らかにし、また空襲を受けた記録により、民間人の被害の実相を明らかに。

◆参加希望: west_umi@khc.biglobe.ne.jp

に、氏名と府県名を明記の上で申してください

◆参加申し込みされた方には、URL を送ります。

5月29日までに届かない場合は電話で連絡を (090-3161-8677 永島)

◆連続講座の参加費は無料。カンパは大歓迎。

郵便振替口座: 00170-0-161293

日本戦没学生記念会

◆「後日配信」が可能です。まずお申し込み下さい

戦争をあおる教科書はいらない大阪集会

日時: 2024年6月1日(土) 14:00~16:30

場所: 国労会館3階大会議室

ZOOM: <https://qr.paps.jp/Pky1F> のフォームからお知らせする参加費を振り込んでください



令和書籍同様に、子どもたちに渡してはならないのが育鵬社と自由社の歴史・公民教科書です。育鵬社は2020年に横浜市や大阪市などで採択を失い、残っている地域は石川県金沢市や泉佐野市などわずかですが、今度こそ採択をゼロにしましょう。